

開催 : 2017年12月22日

申請者	リハビリテーション部 作業療法士	丸山 祥
承17 - 0003	作業療法学生に対するクリニカルリーズニング技能の試作版尺度の開発	
研究の概要	<p>本研究は、作業療法学生を対象としたクリニカルリーズニング技能評価の試作版尺度の質問項目の記述と検討、内容妥当性の検証を行うこと(手順1)、作業療法学生に対する表面的妥当性の検証を行うこと(手順2)を目的とする。尺度開発のプロセスは、尺度開発の国際基準であるConsensus-based Standards for selection of health Measurement Instruments(COSMIN)を参考にして行う。今後、本研究に続いてクリニカルリーズニング予備尺度の開発研究(信頼性と妥当性の検証)へと発展させる予定である。本研究は一連の「作業療法学生を対象としたクリニカルリーズニング尺度開発」のための基礎知見となるものである。</p>	
判定	承認	※全員承認で一致した。

申請者	湘南慶育病院 院長	松本 純夫
承17-0004	遠隔在宅医療に関するプリトライアル	
研究の概要	<p>慢性疾患を持つ患者において、通院医療サービスと比較し、通院医療サービスを一部遠隔相談サービスに代替することによって、以下のことが改善することを証明する。</p> <p>①通院から処方受けまでに伴う、患者の物理的負担(物理的負担は本研究では、患者が外来診療に必要な時間とする。)</p> <p>②患者と受診担当医とのコミュニケーションの濃厚さ</p>	
判定	修正した上で承認 ⇒ ※全員承認で一致した。	

申請者	リハビリテーション部 副部長	金子 文成
承17-0005	複合現実による自己運動錯覚誘導と脳機能結合に関する研究	
研究の概要	<p>本研究は標的とする脳部位の興奮性を一過性に変化させる方法としてQPSを用い、その前後で感覚機能、運動機能、そして認知機能などがどのように変化するかを検査し、標的とした脳部位の感覚、運動、認知機能に関わる役割を明らかにすることを目的とする。</p>	
判定	承認	※全員承認で一致した。